

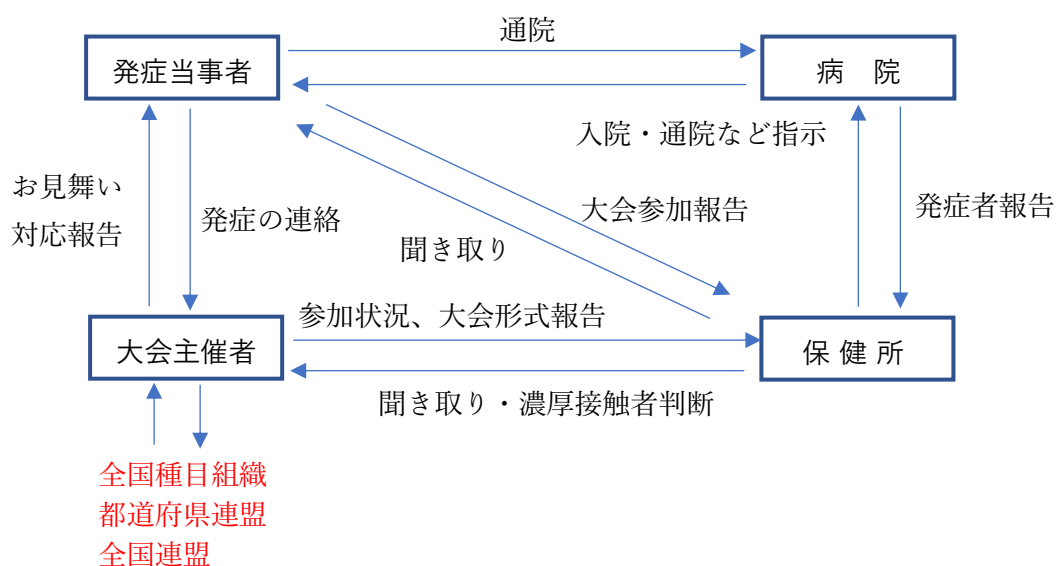
## 重要！ 感染者が出た場合の対応

※大会主催団体は、保健所に連絡がつかないときの緊急連絡先がどこになるのかを事前に調査しておいて下さい。

※感染者が出た場合でも、個人へのバッシングがなされないように、大会主催者、全国種目組織・都道府県連盟、全国連盟が連携して感染者に配慮した対応をしましょう。

スポーツ連盟での大会・行事での感染者発生の際の対応について、これまでの経験から次のことが重要になります。都道府県連盟・種目組織での取り組みを要請いたします。

- 1, 参加要項に「大会参加後に感染が分かった場合は、主催者に必ず連絡」と記載し、事前に周知すること。また、当日注意事項で周知すること。大会役員、大会当日の運営スタッフに徹底ください。
- 2, 参加者の感染が分かった時点で「大会役員」「全国種目組織」「全国連盟（感染症対策本部）」で情報を共有し、各役員が分担して必ず「保健所と情報を共有し、濃厚接触者の判断の協議」をすること。
- 3, 過去の事例では、「保健所の時間外で、何度連絡してもつながらない」「市役所に連絡しても、つながらない保健所の電話番号を伝えられるだけ」とのことが起こっています。こうした時の対応は、「各保健所によって対応が違う」ことが考えられますので、事前に緊急の連絡先の把握が必要です。  
(例) 埼玉県の場合：すべての保健所は「緊急連絡先」の音声案内が流れることになっています。この対応が各保健所によって違う可能性があります。  
\*事前に調査し、把握しておく必要があります。
- 4, コロナ感染はどこでも起こりうるものであること、無症状のまま感染することもあることを再度確認し、個人へのバッシングがなされている事実を発見した場合には毅然とした対応をとること。その際、大会役員、全国種目組織・都道府県連盟、全国連盟で情報を共有し、対応を検討するようにしましょう。



\*感染者本人から大会関係者への連絡がなかったこと、大会関係者と保健所の連携が取れなかったなどもあり、要請となりました。